

岐阜県立斐太高等学校
学校案内 2021



創立134年 めざすものは、自主性と豊かな心

校訓

せつ さ たく ま かっ こ ふ ばつ
切 磋 琢 磨 確 乎 不 拔

教育目標

人間尊重の精神を基調として、知・徳・体に調和のとれた人間性豊かな生徒を育成し、将来国家社会の構成員として、ひとりひとりがその能力と特性を発揮し、有為な担い手となることをめざす。

設置課程

全日制の課程
普通科(前期・後期 二期制)

校章



明治32年、当時斐太中学校の図画科の担当であった田島稲三氏の考案にかかる。『中』の字を基調として『蜻蛉島』(あきつしま)に雄飛せんとする意図を込めたという。大町桂月・幸田露伴らから高く評価されたと伝えられる。

校歌

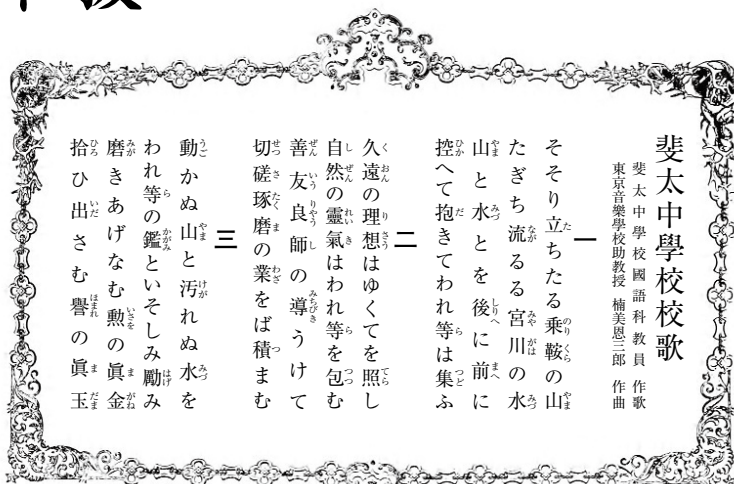
県内で最も歴史、由緒あるもので、明治41年の元旦の拝賀式から歌われ始め、当時のまま百年以上長きに渡って歌い続けられている。

校名

この地方の呼び名を「日本書紀」では「飛驒」、それ以前の表記として「万葉集」では「斐太」、国造本紀・賦役令では「斐陀」とあり、「斐太」という校名は「万葉集」の「斐太」に拠るものである。

沿革

明治 19年 5月17日	飛驒三郡経営高山中学校開設
	6月1日を創立記念日とする
31年 7月18日	城山より現在地に移転
32年 4月 1日	岐阜県斐太中学校と改称
	蜻蛉の徽章制定
41年 1月 1日	校歌を制定
昭和 23年 2月29日	通信教育部併設
23年 4月 1日	学制改革により新制高等学校に昇格
23年 8月18日	岐阜県立斐太高等学校と称す
61年 6月 1日	創立100周年記念式典
平成 8年 6月 1日	創立110周年記念式典
9年10月 5日	通信制50周年記念式典
17年 4月 1日	通信制の課程飛驒高山高校へ移管
18年 6月 1日	創立120周年記念式典
28年 6月 1日	創立130周年記念式典



受け継がれる伝統

白線流し

毎年3月1日の正午頃、卒業証書授与式後に行なわれる行事です。

学校の前を流れる大八賀川をはさんで、校舎側に在校生が、対岸には卒業生が並びます。在校生は「送別歌」とともに旅立つ先輩の門出を祝い、卒業生は「巴城ヶ丘別離の歌」を歌いながら思い出の詰まった校舎に別れを告げます。そのとき、卒業生は、友との永遠の友情を誓って制帽の白線とセーラー服のネクタイを1本に結び合わせ、高校3年間のなつかしい想いを込めて早春の川面に流します。「斐太高校ありがと



う!!」…叫ぶ先輩の姿を見て、斐太高校への想いと誇りが後輩へと受け継がれていくのです。

この白線流しは、旧制中学以来、80年余りにわたって続けられてきた、斐太高校の伝統ある行事です。



学校行事

高校生活を彩る

斐太高校は行事も盛んです！

文化祭（蜻蛉祭）・体育祭・球技大会・白線流しなどの行事は、生徒会が中心となって運営されています。



入学式



対面式



球技大会



蜻蛉祭



東京大学見学



体育祭



遠足

4

入学式
対面式
課題・実力テスト
ウォームアップクラス
生徒総会

5

球技大会
身体測定
体力テスト

6

創立記念式典
前期中間考査
蜻蛉祭

7

三者懇談

8

東京大学見学
課題・実力テスト

9

体育祭
前期末考査

10

遠足
修学旅行

11

マラソン大会
後期中間考査

12

エンパワメントプログラム
三者懇談

1

課題・実力テスト
大学入学共通テスト
地域活性化プログラム発表

2

学年末考査

3

卒業式
白線流し
合格者と語る会
海外研修



修学旅行



マラソン大会



白線流し



卒業式



部活動

熱中できることがあるから頑張れる

体育系・文化系ともにいろいろな部活動があり、
全校生徒の95%以上が部活動に参加しています。

体育系 部活動 (11種)

陸上競技
硬式野球
卓球
ソフトテニス
ハンドボール
サッカー
バスケットボール
バレーボール
バドミントン
弓道
剣道



バスケットボール



陸上競技



インターアクト



弓道



硬式野球



軽音楽



バドミントン



美術



天文

文化系 部活動 (13種)

科学
天文
放送
文芸
茶道
華道
書道
吹奏楽
軽音楽
美術
写真
インターアクト
演劇



ハンドボール



ソフトテニス



演劇



科学



文芸



剣道



サッカー



写真



書道



吹奏楽



卓球



バレーボール



茶道



華道



放送

その他、個人の活動も応援しています！

昨年度の活動 ▶ 水泳、将棋（全国高等学校総合文化祭将棋部門出場など）



カリキュラム

学ぶ意欲を高める

豊かな人格・高い学力を目指すカリキュラム

平成31年(令和元年)度から「進学型単位制」に移行しました。

習熟度別、進路別授業で、進路実現に向けてきめ細かい授業をおこなっています。

令和3年度入学者用教育課程(予定)

文理共通 1年生	文系2年	文系3年	理系2年	理系3年
0				
1	現代文B	現代文B	現代文B	現代文B
2				
3	国語総合	古典B	古典B	古典B
4				
5	現代社会	世界史B	世界史A	世界史A
6		古典A	日本史B	日本史B
7	数学I	日本史B	日本史B	日本史B
8	数学II	地理B	地理B	地理B
9				
10	数学A	数学II	数学II	数学II
11				
12	生物基礎	数学B	数学B	数学B
13				
14	体育	化学基礎	物理基礎	物理基礎
15				
16	保健体育	地学基礎	化学基礎	化学基礎
17	音楽I	体育	化学	化学
18	美術I			
19	書道I			
20	コミュニケーション英語I	コミュニケーション英語II	コミュニケーション英語II	コミュニケーション英語II
21				
22	英語表現I	コミュニケーション英語III	コミュニケーション英語III	コミュニケーション英語III
23	家庭基礎			
24	社会と情報	英語表現II	英語表現II	英語表現II
25				
26	△	英語特講(学)	△	英語特講(学)
27	LHR	LHR	LHR	LHR
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				

△…総合的な探究の時間 (学)…学校設定科目

※「文数特」は「文系数学特講」、「地歴特」は「地歴特講」、「体育特」は「保健体育特講」、「芸特I」は「芸術特講I」、「芸特II」は「芸術特講II」です。※科目名や時間数は変更になることがあります。

授業以外の取り組み

進学対策

1年

- 月曜講座
- 模擬試験(全員参加 年3回)
- ハイレベル模試(希望者 年1回)
- インターンシップ(夏休み)
- 合格者と語る会

3年

- 早朝トレーニング
- 土曜講座
- 模擬試験(マーク・記述・小論文・公務員・看護)
- 放課後補習(英・数・国・理・地歴公民)
- 東大京大特別講座
- 共通テスト対策(12月～共通テスト前日)
- 国公立二次試験・私大対策(共通テスト後～)

2年

- 月曜講座
- 模擬試験(全員参加 年4回)
- ハイレベル模試(希望者 年3回)
- 学部学科説明会
- 東京大学見学(夏休み)
- 合格者と語る会

学習支援

- 1年ウォームアップクラス(4月)
国語・数学・英語:2時間または3時間連続
家庭学習の体験指導
- 少人数・習熟度別・進路別授業
1年 数学、英語
2年 文系クラス 英語、数学、古典
理系クラス 数学、英語
3年 文系クラス 数学、英語、古典
理系クラス 数学、英語、物理、化学

日課表

予 鈴	8:05
S H R	8:10～ 8:20
第1限	8:25～ 9:15
第2限	9:25～10:15
第3限	10:25～11:15
第4限	11:25～12:15
昼 休	12:15～12:50
予 鈴	12:45
清 掃	12:50～13:00
第5限	13:05～13:55
第6限	14:05～14:55
S H R	14:55～15:05

※1・2年生 月曜日用日課

予 鈴	8:05
S H R	8:10～ 8:20
第1限	8:25～ 9:15
第2限	9:25～10:15
第3限	10:25～11:15
第4限	11:25～12:15
昼 休	12:15～12:55
予 鈴	12:50
第5限	12:55～13:45
第6限	13:55～14:45
第7限	14:55～15:45
S H R	14:45～15:55
清 掃	15:55～16:05

進路別 履修パターン(予定)

授業の中で、進路目標に合った学習が可能になります。

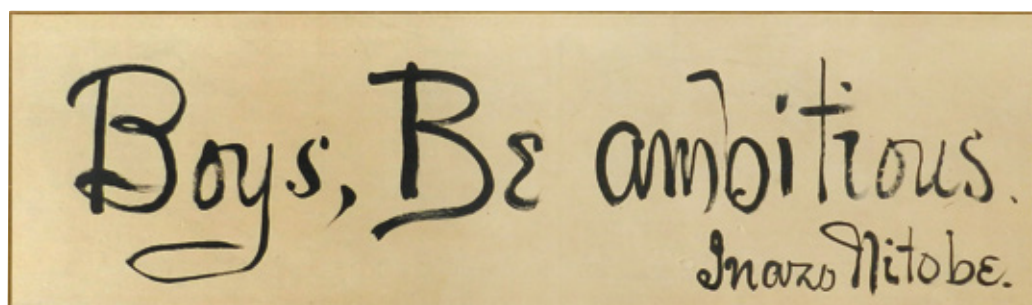
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 文系 | ●国公立文系：難関 | 理系 | ●国公立理系：難関 |
| | ●国公立文系 | | ●国公立理系 |
| | ●私立文系 | | ●私立理系 |
| | ●私立体育系 | | ●管理栄養系 |
| | ●国公立芸大 | | ●看護系 |
| | ●私立芸大 | | ●文理系型 |
| | ●その他文系 | | |





進路

高い志を抱き、世界に羽ばたこう！



昭和36年8月、中33回卒の
荒垣秀雄氏により本校へ寄贈された
新渡戸稲造直筆の書

新渡戸稲造は国際連盟の事務次長を務めた農業経済学者、教育家、前の五千円札肖像の人物。
札幌農学校(現在の北海道大学)の二期生として入学。Boys, Be ambitious(少年よ、大志を抱け)
は、農学校に教頭として赴任したウィリアム・スミス・クラーク博士の言葉。

堅実な実績

国公立大学合格者

111名

(令和元年度卒業生)

私立大学合格者

563名

(令和元年度卒業生)

国公立大学は毎年100名以上合格

名古屋大学(文、農、医)	4名
浜松医科大学(医)	1名
筑波大学(人文・文化)	1名
東京外国語大学(言語文化)	1名
東京学芸大学(教育)	1名
横浜国立大学(理工)	1名
千葉大学(教育)	1名
金沢大学(人間社会、医薬保健)	6名
岐阜大学(教育、工、医、地域)	13名
岐阜薬科大学(薬)	1名

主な国公立大学

電気通信大学	1名	大阪教育大学	3名
富山大学	11名	奈良教育大学	1名
福井大学	3名	新潟県立大学	4名
山梨大学	3名	富山県立大学	1名
信州大学	2名	愛知県立大学	3名
静岡大学	3名	名古屋市立大学	3名
三重大学	2名	滋賀県立大学	1名

慶應義塾大学	2名
上智大学	2名
東京理科大学	3名
明治大学	4名
青山学院大学	2名
立教大学	2名
法政大学	5名
中央大学	2名
津田塾大学	1名
同志社大学	2名
立命館大学	9名
関西学院大学	1名
南山大学	12名
愛知大学	24名
名城大学	26名
岐阜聖徳学園大学	25名

センター試験出願者のうち、半数近くが国公立大学に合格

国公立大学 過去の実績

東京大学	神戸大学	新潟大学	岐阜大学
京都大学	国際教養大学	金沢大学	三重大学
大阪大学	東京藝術大学	福井大学	静岡大学
名古屋大学	お茶の水女子大学	山梨大学	滋賀大学
北海道大学	筑波大学	信州大学	広島大学
東北大学	東京外国語大学	富山大学	首都大学東京
九州大学	東京学芸大学	浜松医科大学	愛知県立大学
東京工業大学	千葉大学	愛知教育大学	名古屋市立大学
一橋大学	横浜国立大学	名古屋工業大学	大阪府立大学…などに合格

私立大学 過去の実績

早稲田大学	法政大学	岐阜聖徳学園大
慶應義塾大学	明治大学	藤田医科大学
青山学院大学	立教大学	南山大学
北里大学	同志社大学	名城大学
国際基督教大学	立命館大学	…などに合格
上智大学	関西大学	
中央大学	関西学院大学	
津田塾大学	愛知大学	
東京理科大学	中京大学	



実践

伝統と革新 進み続ける教育実践！

地域共創フラッグシップハイスクール&地域協働推進校(文部科学省)
(Flagship of Regional co-creation High school)



地域に根差した教育実践、地域に必要なとされる学校教育とグローバルな視点の人材育成、飛騨地域でしかできない教育実践に取り組みます。



地域活性化プログラム

地元企業や大学との連携による
地域活性化に向けた提案

繋がり、深まる
地域との連携

FRH 2本の柱

《年間計画》

11月 地域活性プログラム中間発表会
12月 エンパワーメント・プログラム
1月 地域活性化プログラム
(Hida.T-Academia) 最終発表会
3月 海外研修 (ロサンゼルス)

コミュニケーション能力 育成プログラム

- エンパワーメント・プログラム
(3日間の英語集中講座)
- ディベート
- 海外研修

地域と世界を繋ぐ
グローバル教育



英語ディベート講習



エンパワーメントプログラム



海外研修

昨年度の「地域活性化プログラム(Hida.T-Academia)」発表のテーマ

- ▶ WIN-WIN 観光
- ▶ 第二の故郷“Takayama”
- ▶ 私たちに救える命はあるか？
- ▶ バス大改造計画 in 飛騨
- ▶ マップガチ勢 ～世界中の人が食を楽しめる高山へ～
- ▶ 「ミライ」×「飛騨」
- ▶ 観光客の行動範囲の拡大 ～シェアリングサービスの活用～
- ▶ 100年先まで祭りを残すために



ステージ発表



ポスターセッション

自分の夢をかなえた 先輩たちからのメッセージ

令和元年度卒業生
名古屋市立大学
看護学部
合格



多田 怜花
(神岡中学校出身)

私は高校三年間、色々な場面で目標のために努力することが出来ました。そのどれもが一緒に頑張る仲間なしでは達成することが出来なかったと思います。そのことを特に実感したのは、勉強と部活です。

斐太高校での生活において勉強は切っても切れないものです。私自身、特に高校生活に慣れていない一年生の時は毎日の小テストの勉強や、予習、復習などに追われ、苦しかったことを覚えています。また、私は陸上競技部に所属していたため、部活が終わり家に帰るとクタクタになって寝てしまったり、遠征を理由に勉強をしなかったり、入学したばかりの頃の私は部活と勉強を両立していると言い切ることが出来ませんでした。そんな私を変えてくれたのは勉強も部活も頑張っている周りの仲間です。遠征や合宿など疲れている時でも空いている時間を見つけて勉強したり、平日の部活の後、授業で習ったことでわからないところを相談し合ったりして部活をしながらも、

勉強をする雰囲気仲間が自然と作ってくれました。そのおかげで部活をしながらも勉強をおろそかにすることなく引退までやりきることができ、そのことが自分への自信にもつながり受験勉強も粘り強くすることが出来ました。

斐太高校で過ごした三年間で楽しかったことや嬉しかったことはたくさんありました。逆に辛かったこともありました。しかし、その辛かったことも今となればかけがえのない大切な思い出です。それは、辛いことにも全力で取り組めたからだと思います。斐太高校は勉強や部活以外にも、行事など様々なことに全力で取り組むことができる場所です。そして皆さんの周りには、それらのことを一緒になって頑張ってくれる仲間や、頼もしい先生方がいらっしゃいます。是非、皆さんも斐太高校で何か頑張りたいことを見つけ、それに全力で取り組んでみてください。

皆さんが充実した三年間を送れることを願っています。

令和元年度卒業生
東京外国語大学
言語文化学部
合格



黒内 咲衣
(日枝中学校出身)

斐太高校の魅力はたくさんありますが、一言で言えば「ちょうどいい」ことだと思います。私は高校三年間を物理的にも精神的にも快適な環境で過ごし、自分に合った配分で勉強や課外活動に取り組むことができました。

斐太高校は行事が多く本格的であることがよく紹介されますが、活動は短期集中で、頻度や内容も勉強に支障をきたすほどではありません。主なものとしては、球技大会、蜻蛉祭(文化祭)、体育祭、マラソン大会があります。

蜻蛉祭ではクラスごとの展示や出し物だけでなく、部活の仲間や友達と一緒にステージに上がり楽しむこともできます。しかし、行事によっては苦手な分野がある人もいるでしょう。そんな人にも活躍の場が用意されています。私も三年のときには体育祭に選手としてではなく、運営として参加しました。

次に、勉強の環境についてです。全教室に涼しいエアコン、冬には暖房設備があり快適に過ごせます。昨冬から女子の黒タイツ着用も認められました。そして、先生方はやる気のある生徒を手厚くサポートしてくださいます。私も多くの先生に志

望校の相談をしたり、過去問の添削をしてもらったりしました。卒業した先輩には受験の対策を聞いたり、問題集を戴いたりしました。また、飛騨地域から同じような目標をもった仲間が集まっているので、互いの刺激にもなって、勉強のモチベーションを維持するのに理想的な環境でした。

ただ、斐太高校で勉強ばかりしているのはもったいないです。というよりむしろ、高校生活を勉強一色にしてしまうことは、人生の中でかなり損をしていると私は思います。もちろん価値観は人それぞれですが、一度しかない高校生活で、部活動、行事だけでなく学校以外の活動も大きな経験になると思います。私は課外活動や学校以外の活動をしたことで、自分の価値観や考えを変える出会いや経験をしました。勉強以外のことにも精一杯取り組みやすいという点でも斐太高校は「ちょうどいい」のです。自分のやりたいことに合わせて、勉強もそれ以外も頑張りたい、という人には特におすすめの学校です。最後になりましたが、みなさんが素敵な高校生活を送られるよう願っています。

令和元年度卒業生
千葉大学
教育学部
合格



前野 晴香
(国府中学校出身)

斐太高校で過ごした三年間は、私にとってとても充実したものでした。授業、部活動、行事、受験勉強、本当に忙しく楽しい毎日でした。

斐太高校の生徒は進学を目指している人がほとんどです。授業の予習、復習、課題、小テストなど中学校とはまるで違った勉強に慣れるのは大変でした。登下校の際もバスの中で立ちながら単語帳を読むのが当たり前になっていました。しかし、この積み重ねが大切だったと今実感しています。一、二年生での学習も三年生になって生きてきます。斐太高校での学習は、正直大変で苦しいですが、とても力がつき、自分の成長につながります。進学を目指す周りの人たちの頑張る姿が励みになり、乗り越えていけると思います。

しかし、苦しいことばかりではありません。斐太高校は部活動も活発です。私は弓道部に所属していましたが、毎日の練習や部活仲間との交流はとても良いリフレッシュになりました。部活の大会などで嬉しい思いや悔しい思いをし、また青春を

感じられるのは高校生ならではのだと思います。文武両道で部活動にも力を入れることができるのも斐太高校の魅力です。また、球技大会、蜻蛉祭、体育祭などの行事は規模が大きくとっても盛り上がります。クラスや団で一つのものをつくり上げる楽しさは一生の思い出になると思います。

最後に、高校には中学校とは違い、勉強や部活動において大きく強制されるものはありません。しかしそれは、自由でもあり、自立を求められているということでもあると思います。これからの人生は自分自身で決めていかなければならないことが多くなります。高校生活の質、受験の志望校、将来を決めていくのは自分です。斐太高校はそうに自立する力をつける絶好の舞台だと思います。様々な経験、多様な価値観を持った人との出会いが待っています。是非この環境を生かして自分を成長させてください。そして、充実した高校生活を自分自身で切り開いていってください。

令和元年度卒業生
**名古屋大学
文学部
合格**



戸谷 文香
(下呂中学校出身)

斐太高校は三年間を通して頑張りたいことを全力でやりきれ場所だと思います。その一番の要因は皆さんも出会う友人と共に歩んで下さる先生方にあると思います。

私は斐太高校に入学してたくさんの友人と出会い大きな刺激と影響を受けました。斐太高校には勉学、部活、行事、課外活動など様々な環境で努力し活躍するチャンスがあります。入学当初、私は新しい環境に慣れるのに精いっぱい毎日疲れ切っていました。遠方からの通学ということもあり、学習時間の確保のために中学から続けていた部活への入部はあきらめ「進学さえできればいい」という意識の低い状態で授業を受けていました。そんな中途半端な私が「変わりたい」と思えたのは友人たちのおかげです。学校に慣れ交流が増えるにつれ、目標を持って地道に努力し続ける人、全国レベルの実力で部活に励みながら勉学も両立する人、まねできないようなバイタリティで活躍する仲間がたくさん出会いました。私には友人

たちのように活動する力はありませんでした。それでも彼らのおかげで「三年間自分の力で何かやり遂げたい」という気持ち生まれ、そこから進路について真剣に向き合うようになりました。そこで私は志望校と将来の夢を明確にし、そのために勉学に励むと決めました。しかし三年間ひとつのことをやり抜くのは苦しいことです。何度も意志が揺らぎました。それでも私が折れなかったのは何度も相談に乗り支えて下さった先生、一緒に苦しい時を過ごしてくれた仲間がいたからです。二つの支えのおかげで三年間ベストを尽くすことができました。

どのような動機で高校に入学したとしても周囲の環境は自力で変えられません。変えられるのは自身の物事への捉え方です。辛い時、ひとりで変わろうとするのは難しいことです。そんなとき少し周りに目を向けてみて下さい。斐太高校には共に歩んでくれるたくさんの仲間がいます。どうか三年間を悔いなく過ごしてください。

令和元年度卒業生
**金沢大学
医薬保健学域
合格**



松田 駿作
(下呂中学校出身)

僕が高校生活を通して感じた最も大切なことは「目標をもち、それに向かって努力する」ということです。

僕は一、二年生の頃はどの大学に行きたいか、どの学部に行きたいかなどをたいして考えておらず、目標を持たずに勉強をしていました。しかし三年生になり、自分の将来を真剣に考え、必死に努力する仲間と出会いました。その仲間から刺激を受け、僕は絶対この学部に入ろう!と決意し勉強に取り組み始めました。

このように目標をつかったことで「テストがあるからやっていた勉強」から「自分のためにやる勉強」へと勉強に対する意識を変え、自分の学力を上げていくことができました。ですから

今から高校に入学する皆さんには部活でも勉強でもなにかしらの目標を持ちながら高校の三年間を過ごして欲しいと思っています。

今まで勉強のことしか書いていっていませんでしたが、斐太高校には楽しく、やりがいのある行事がたくさんあります。球技大会、蜻蛉祭、体育祭など様々な行事がありますが、今どの行事を思い返してみても楽しかった思い出しかありません。

斐太高校は大学進学の良い刺激となる仲間や先生方と出会うことができ、なおかつ楽しい行事があります。

そんな斐太高校でみなさんもぜひ充実した三年間を過ごしてください。

令和元年度卒業生
**名古屋大学
農学部
合格**



岡田 杏梨
(古川中学校出身)

私の三年間の高校生活は充実していて、あっという間に終わってしまいました。

斐太高校は自由な校風が特徴です。私はこの校風に惹かれて入学しました。思っていた通り、規則に縛られすぎることなく、生徒を尊重してくれる学校でした。部活動・勉強・課外活動など様々な方面で頑張る生徒がいて、自分のやりたいことができます。また、行事が盛んで、球技大会・文化祭・体育祭など、充実しています。勉強だけに縛られる生活ではなく息抜きになり、とても楽しいはずですよ。

高校の勉強は、中学校より難しくなります。入学当初は、私より勉強が出来る人達に囲まれて焦りました。自分が勉強について行けるのか不安でしたが、先生方が手厚くサポートしてくれました。授業だけでなく、放課後補習や土曜講座を開講してくれます。志望校のレベルに合わせて、クラスを選ぶことができるものも多くあり、学力向上の手助けになりました。

そして、私が斐太高校に入学して良かったと感じる一番の理由は、仲間に出会えたことです。斐太高校には中学校時代に出会うことができなかった、個性豊かな人たちがたくさん居ました。様々な分野で自分より秀でている人や、深い考え方をしている人に刺激をたくさん受け、自分も成長することができたと思います。受験勉強では特に、周りの仲間にとっても助けられました。友達と定期テストを競い合ったり、模試結果を比べ合ったりしました。私は勉強が好きな人間ではなかったですが、競うことが勉強のモチベーションアップに繋がっていました。仲間と受験に対しての不安を語り合うことで気持ちが安らいだ事もあります。受験は一人で乗り越えられるものではないので、勉強において高め合える仲間を見つけられるといいと思います。

皆さんもぜひ、三年間を斐太高校で過ごしてみてください。必ず有意義な時間を過ごせるはずです。

令和2年度
前期生徒会長



坂本 侘奈
(松倉中学校出身)

斐太高校は本当に素敵な学校です。入学して後悔することはありません。私がこのように考える理由を二つ挙げたいと思います。

まず一つ目は、文武両道であることです。斐太高校には六月の蜻蛉祭や九月の体育祭などの大きな行事がたくさんあります。それに加え、定期テストもあります。もちろん斐太高生の本業は学ぶことですが、行事の準備に一生懸命取り組んだりどんなことにも一生懸命取り組む姿がみられます。そして、斐太高校には全国大会に出場するレベルの部活もあります。これには何事にも一生懸命に取り組む斐太高生の姿が表れているの

だと思います。

そして二つ目は自分の夢を全力でサポートして下さる先生方がみえることです。夢がある人もまだ見つからないという人も先生方は受け入れ、自分の進路のように親身になって私たちの背中を後押ししてください。

斐太高校で過ごす三年間は皆さんにとってきっと忘れられないものになると思います。互いに切磋琢磨し合う仲間がいて、導いて下さる先生方がみえるこの斐太高校は皆さんの夢を叶える近道である素敵な学校です。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

「懐かしい三星霜 思い出さそう 鐘は鳴る」



校舎の脇の一角に立ち、年一度、白線流しの開始の合図にのみ鳴らされる「平和の鐘塔」。これは、すべて生徒の手で企画や資金募集をおこなって完成した生徒会活動の金字塔なのです。

「平和の鐘塔」建設の声は、昭和25年の朝鮮戦争勃発に対し、世界戦争への不気味な前兆と受け止めた生徒たちの中から、平和問題を真剣に考えていく象徴として作ろうとする声があがってきました。その後、全校生徒の理解を得るために、議会や生徒集会、各ホームルームでくり返し話し合いをおこなって、生徒会の一大事業として建設することが決まりました。それ以後、生徒会による積極的な募金活動がおこなわれ、昭和27年12月8日、3年越しの悲願が実って「平和の鐘塔」が完成しました。

この鐘の音とともに、平和な世界がいつまでも続くように願った先輩たちの精神を心に刻み、斐太高生は卒業していきます。



岐阜県立斐太高等学校

〒506-0807 岐阜県高山市三福寺町736番地 Tel.0577-32-0075 Fax.0577-32-9006

URL <https://school.gifu-net.ed.jp/hida-hs/> E-mail c27337@gifu-net.ed.jp